

セルフマネジメント支援論

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 1単位

《担当者名》 高木 由希 (看護福祉学部 u_uta@hoku-iryo-u.ac.jp) 唐津 ふさ

【概要】

セルフマネジメントのための主要概念を学び、病と共に生きる対象者が治療・社会生活・自己の感情を含めマネジメントする方法を身につけるための支援について学ぶ。また、代表的な疾患の病態生理や治療の知識を活かし、具体的なセルフマネジメント支援について学ぶ。

【学修目標】

1. セルフマネジメントの概要と構成要素について説明できる。
2. セルフマネジメントの重要性を理解し、セルフマネジメント支援における看護師の役割を理解できる。
3. 成人期に特徴的な疾患の進行・急性増悪を予防するための療養法、ならびに必要なセルフマネジメントを促すための具体的な看護援助について理解できる。
4. 療養法を取り入れ生活を再構築していくために必要なセルフマネジメントを促すための具体的な看護援助について理解できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

高木由希（看護師） 唐津ふさ（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験で培った知識、技術、態度を活かし、医学的知識と関連付けて長期療養する対象者を理解する視点及び対象者のQOLを維持・向上する上で欠かせないセルフマネジメント支援に必要なアプローチ方法を講義する